ふれあいトーク記録書 （ 市民団体との意見交換会 「い」チーム ）

- 開催日時： 令和6年11月22日（金）午後7時～午後9時
 場 所： 岩倉市民プラザ
 参加人数： 3人（市民）4人（市議会議員） 計7人
 次 第： 1. 主催者あいさつ
 2. 開会あいさつ 市議会議員 関戸郁文
 3. 参加者の自己紹介
 4. 意見交換 テーマ：「誰一人取り残さないSDGs」
 5. 閉会あいさつ 市議会副議長 井上真砂美

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
子どもたちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は遊戯に関する規制がたくさんあって、子どもたちが満足に遊べる機会が少なくなっている。 ・SNS の普及で、子どもたちが顔も見えない相手ともやり取り出来る様になったため、相手の顔の気持ちを考える習慣が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多少でも規制を緩めることで子どもたちが楽しめる機会を提供できるとよい。 ・学校内の集団生活の中で他人との距離感や社会の振る舞いを学んでほしい。
不登校について	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたくないという子どもの本心を尊重することも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校になっていく理由はさまざまである。 ・勉強する目的を明確化することで学業に興味・関心が深まる場合もある。

子どもたちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行きたくないなら行かなくていいという選択肢が学校側でも熟成されつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校か、家庭か SNS か自分の居場所をどこに定めるか決めることができってしまう。
受験制度のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教員の負担が減らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で距離感等を学んでいくものもある。
子どもたちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は子どもたちが程よいガス抜きの仕方を学べなくなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会の活動として、子どもたちが健全に若いエネルギーを発散できるような機会を提供できるような活動をしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・充実感を共有させるのが大事なのはかわらない。 	
学校教育の転換期	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、学校教育の転換期を迎えている。 ・勉強は YouTube 動画など、SNS で好きなタイミングでやれるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちそれぞれの選択を受け止められるような体制を作っていかなければならない。
大学について	<ul style="list-style-type: none"> ・大手企業では大卒が重視されてる。 ・学歴はあっても、実際に働くことが難しい人も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学歴で人は測れない。
障がい者雇用について	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用は、経営者としては難しい面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個性を大切にする社会をつかっていきたい。